

2019年(令和元年)10月29日 火曜日

自由な動きで子らダンス!

京都市東山区の市三条学童保育所に通う児童たちが、創作ダンスを通じて自己表現を学ぶワークショップ「こちかぜキッズダンス」に取り組んでいる。プロのダンサーが子どもたちの自由な動きを引き出し、一緒に作品を生み出す。11月3日に開かれる「まちづくりフェスタ」で成果を披露する。

東山区市三条学童保育所



練習に取り組むこちかぜキッズダンスの児童たち。自由な動きからダンスを作り上げていく(24日、京都市東山区・市東山いきいき市民活動センター)

プロダンサー、表現引き出す 3日披露

「こちかぜ」は、NPO法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク(下京区)の主催。市東山いきいき市民活動センターを拠点に、2014年から年1〜2回開いてきた。同センターに同居する学童保育所を中心に、地域内外の児童が参加し、10回前後の練習を通して作品をつくる。

ダンスの振り付けは子どもたちの自由な動きから創作する。講師を務める京都のダンスユニット「セレングラフィカ」代表の隅地菜歩さんは「みんな勢いがあって、それぞれにキャラが立っている。むしろ、『そろわないこと』が強み」と目を細める。

取り組みも6年目を迎え、継続して参加する児童も多い。東山開晴小4年の男子(9)は「決められた動きでなく、自分のやりたいことがダンスになるのが楽しい」と話す。

24日の練習会でも、児童たちはダンサーのお手本に倣いつつ、思い思いの動きを取り入れて楽しんでいた。初めて参加した同小1年の女子(7)は「頑張って踊っているところを見てほしい」と熱心に練習に励んでいた。

まちづくりフェスタは、3日午前11時から同センター周辺で開かれる。「こちかぜ」の発表は午前11時半からの予定。(長谷川真一)